

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	医療法 備前市国民健康保険病院条例
事業開始年度	平成17年度～		
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」
	中項目 基本計画	06	誰もがいつでも安心して暮らせるまち
	小項目 施策	24	地域に密着した医療サービスの提供
事務事業名	08	日生病院運営事業	
問合先	担当課(室)	市立日生病院	
	職・氏名	庶務係長・小野田一義	
	電話	0869-72-1111	
	このシート作成に要した時間	5.0 時間	

事業の目的	Plan
対象(誰・何に対して)	出資者である市民
目的(何のために)	市立日生病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と計画的・効率的な病院経営の推進を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	患者と病院が相互に信頼し、健康増進と疾病の予防及び地域に開かれた温かく、親しみにあふれる医療の提供ができる病院とする。また、経営の改革と基盤強化に取り組み、経営の健全化及び事業の活性化に努めながら安定した病院経営とする。

事業の実績	Do	
細事業名	事業の説明	優先度
病院経営(各種委員会)	病院の経営及改善等のための協議を行う各種委員会に関する業務	○
労務管理	病院職員の労務・健康管理	○
施設管理	病院施設の管理	△
財務管理	病院運営の財務管理	◎
その他庶務	法令・条例に沿った病院運営の庶務	△
右欄の評価の説明		
<妥当性評価>	○市民からの要望に対し各種委員会で実情調査とその対応について協議。結果を院内掲示等により回答し、対応可能なものは早期に改善するなど地域住民ニーズに応えるよう努めた。	
<効率性評価>	○他病院の情報幅広く収集し、薬品・診療材料等の材料費の削減と委託・賃借料の複数年契約の実施等により経費削減を行う。	
<有効性評価>	○25年度決算については経常収支について黒字を確保することができ、また留保資金についても昨年度に引き続き目標値5億円を確保していることから、引き続き安定経営が維持できるよう努力していく。	

事業費等	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業直接事業費	千円	29,243	25,600	36,656
必要人員・件数		3.51人	3.06人	3.41人
事業費	千円	54,933	48,909	63,016
国県支出金				
受益者負担				
繰入金				
市債				
その他()				
一般財源		54,933	48,909	63,016
受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量		766	851	879
	対前年比	%	-	111.1%	103.3%
	活動コスト	円	12,156,000	12,642,000	14,303,000
	単位当たりコスト	円	15,869	14,855	16,272

事業の成果	成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
決算における経常収支比率	目標値(A)		100	100	100	100
	実績値(B)		101.2	101.2	105.3	到達目標値
	達成率(B/A)		101.20%	101.20%	105.30%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
経常収益/経常費用×100						
※これまで「収益的收入-収益の支出」による純利益を指標にしていたが、「公立病院改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経常効率化の3指標①経常収支比率、②職員給与費比率、③病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすい①の経常収支比率を選択した。(診療事業シートは③を選択)						

事務事業の評価	該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高 低い 高 低い A
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高 低い 高 低い B
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高 低い 高 低い B

進行年度(H26年度)の改革改善内容	状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○				
	説明	経営効率化を推進するため、民間的経営手法の導入、経費削減・抑制対策、収入増加・確保対策等について検討し、経営の健全化に努める。						

総合評価	各種委員会で①医療事故・ヒヤリハット事例の検証と対策、②院内感染予防対策マニュアルの見直し、③患者からの要望・意見に対する対策とその内容の公表、④全職員を対象としたサービス向上のための目標設定とその検証、⑤職員の資質向上を目的とした院内研修などを実施したことにより、患者満足度の向上と職員の意識改革を促すことができた。また、成果指標である経常収支比率の目標達成と留保資金の拡充を図ることができた。しかしながら、現状維持のままでは患者数の増加を今以上に見込むことは困難であり、安定経営を維持するためには、事業内容の分析と見直しを引き続き行い、経営の健全化に一層努めなければならない。	総合評価	ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高 低い 高 低い B
------	--	------	--

平成27年度の方向性・取組目標	方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○				
	取組目標	公立病院改革プラン及び公営企業経営健全化計画の趣旨に沿って事業の検証と見直しを行う。また、市立3病院の再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しについても検討委員会を行う。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

右欄の事業の目的やその留意目標を評価する数値目標